医療経営士ニュース｜これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙
MMS NEWS
2026 11月号
Vol.189
毎月1回発行（通巻189号）
編集：日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会　〒104-0042　東京都中央区入船3-8-7　ザ・ロワイヤルビル５階　TEL.03-3553-2906　http://www.JMMPA.jp/

第15回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会 演題発表審査委員長に聞く

フレッシュな発想の発表から学び 自院の、地域の変革へつなげよう！

WEB発表2名を含め、20名が登壇する第15回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会の医療経営士による演題発表。審査委員長を務める吉長成恭氏（日本医療経営実践協会理事）に、参加者へのメッセージをいただいた。


本大会の審査委員長を務める吉長成恭氏

初登壇者による発表で固定概念が変わる

今大会の演題発表は、全発表者18名が初登壇ということが大きな特徴です。内容を拝見すると、それぞれの皆さんが多彩なバックグラウンドをお持ちということもあってか、さまざまな分野に医療経営士としての視点が持ち込まれていることがわかります。医療の質の改善・担保や地域社会のニーズに対する病院の医療サービスのあり方に向け、絶えずチャレンジされている様子が伝わってきますし、他職種・他分野とコミュニケーションを持ち、多様な価値観を理解する、医療経営士としての資質が十分に生かされていると感じます。

『理論と実践』No.61にも注目ポイントとして書かせていただきましたが、これまでの医療経営士としての固定概念が払拭されるような面白さがあります。看護師に関する取り組み、採用難への対応、組織の縦割りを防ぐ工夫など、キーワードを拾うだけでも注目すべきものばかりです。ぜひご自身の職場のリテラシーに合わせて、発表者の方々とディスカッションしていただきたいと思います。

大会で学んだことを職場で活かす仕組みづくり

参加される方は大会のなかでさまざまな情報を収集することになると思いますが、その学びを持ち帰った後、職場でどう共有するかという課題があります。そこで医療経営士の方々には、ぜひ「大会報告会」のような機会をルーチン化してほしいと願っています。大会に参加して得た重要な学びや印象に残ったことを、自分の職場や関係部署で報告するシステムの構築です。

出張レポートの提出で終わらせず、口頭でプレゼンテーションする機会をつくれれば、院内における医療経営士のプレゼンスは確実に向上します。医師、看護師などの医療専門職に対し、「医療経営士は自分たちを底支えし、患者さんを中心に医療の質を向上させようとしている」と改めて感じてもらう良い機会にもなるでしょう。

病院全体に対して行うとなるとハードルも上がりますので、まずは感受性の高い関係部署を対象に、そうした仕組みをつくっていただきたいと思います。

さらに次のステップとして、専門職と共に地域の公民館などへ出向き、地域の方々に医療経営士という仕事や医療の在り方を理解してもらう「アウトリーチ」の活動までイメージしています。その動きは、まさに今大会テーマである「地域とともに歩む社会性豊かな医療の実現」につながっていくのではないでしょうか。

地域の方々や行政に、地域医療の質と病院経営を支え、地域のニーズとの橋渡しをする役割を医療経営士が担っているのだと理解されることが、非常に大切だと考えています。地域社会の課題が解決され、社会的利益がついてくる、そこに医療経営士が貢献していく。そんな理想に向かって進んでいく一歩に、今大会がなることを期待しています。

第15回 全国医療経営士実践研究大会 東京大会

開催日
2026年
11月21日土
22日日

大会テーマ
地域とともに歩む社会性豊かな医療の実現
病院経営が危機的状況にある今こそ、医療経営士は一致団結し、使命感を持って地域医療の崩壊をくい止めよう！

会場 ステーションコンファレンス東京

大会特設サイトはコチラから➡

【お問い合わせ先】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局　☎03-3553-2906　taikai@jmmpa.jp

10月18日（日）実施
「医療経営士」
資格認定試験の
合格者を発表

2級試験の累計合格者3,000人を突破！

一般社団法人日本医療経営実践協会は11月18日（水）、第32回「医療経営士2級」および第49回「医療経営士3級」資格認定試験（ともに10月18日（日）実施）の合格者を発表した。2級試験（全国10会場）は345人が受験し70人が合格。3級試験（全国16会場）は993人が受験し402人が合格した。

2級試験の合格率が20％台に回復

受験者345人のうち70人が合格、合格率は20・3％（前回18・2％）となり、第28回試験以来の20％台を記録した。なお、累計の合格者は3067人となり、3000人を突破した。

年代別の合格率を見ると、30代が30・4％（前回9・7）と最下位だった前回から大きく数字を伸ばし、唯一30％台を記録。受験者数では40代、50代に次いで3番目だったが、合格者数では24人と40代と並んでトップとなった。

これまで20代、30代といった若い世代の苦戦が目立ってきたが、新しい流れが生まれることになるのか、次回以降も注目したい。

勤務先別では、受験者数の最も多い病医院勤務者が22・2％（前回19・5％）の合格率となり、全合格者の半分以上を占める40人が合格となった。合格率で見ると金融機関が21・6％と高い数字をマークしていることが注目される。また大学生・短大生は、これまで累計で3名しかいなかった合格者が、今回は受験した2名がともに合格という見事な成果を上げた。

3級試験では病医院勤務者が奮闘

受験者993人のうち402人が合格、合格率は40・5％（前回45・7％）となり、第46回試験以来、4回連続で40％を超えた。ただ、前々回の49・4％からは下降気味となっており、次回で持ち直すことを期待したい。

年代別では、受験者数、合格者数とも40代、30代が多いのはこれまでの傾向と変わらず。この2世代はほぼ同じ数字となっており、現場の最先端で活躍が期待される世代が医療経営士を牽引していることがわかる。

勤務先別を見ると、合格者数、合格率とも病医院勤務者がトップ。合格者154人は、2位の医薬品製造・卸売（79人）、3位の医療関連企業（77人）を大きく引き離し、ほぼダブルスコアの差をつけている。2級・3級ともに、病医院勤務者の奮闘が目立つ結果となった。

なお、それぞれの勤務先で合格率は前回よりも下げているが、特に医療機器製造・販売では45・2％と前回の62・5％から大きく下げたことが目立った。

経営状況が厳しい今こそ医療経営士として活躍を！

株式会社東京商工リサーチが今年10月に公表した2026年上半期における医療機関の倒産動向では、病院・クリニック（診療所）・歯科医院など医療機関の倒産は59件。前年同期比28・2％増となり、過去最多を更新した。同社によると、このペースで推移した場合、年間最多の更新もありうる状況だという。

後継者やスタッフの不足、光熱費や各種備品価格の高騰、人口減少に伴う患者数の減少、医療設備の老朽化など、医療機関を取り巻く環境は厳しさを増しているが、それだけ医療経営士の活躍に期待が高まっているともいえる。今回3級に合格した402名も、すでに全国で活躍している医療経営士とともに、この厳しい状況を突破すべく、邁進していただきたい。

【表1】 第32回2級試験および過去試験累計 結果概要

	第32回試験	第1～32回試験累計
受験者数	345 人	11,458 人
合格者数	70 人	3,067 人
合格率	20.3%	26.8%

【表2】 第32回2級試験 年代別構成

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	24 人	3 人	12.5%
30歳以上39歳以下	79 人	24 人	30.4%
40歳以上49歳以下	105 人	24 人	22.9%
50歳以上59歳以下	114 人	16 人	14.0%
60歳以上	23 人	3 人	13.0%

【表3】 第32回2級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	180 人	40 人	22.2%
医療関連企業	41 人	7 人	17.1%
医薬品製造・卸売	46 人	8 人	17.4%
医療機器製造・販売	6 人	0 人	0.0%
金融機関	37 人	8 人	21.6%
大学生・短大生	2 人	2 人	100.0%
その他	33 人	5 人	15.2%

【表4】 第49回3級試験および過去試験累計 結果概要

	第49回試験	第1～49回試験累計
受験者数	993 人	66,071 人
合格者数	402 人	27,846 人
合格率	40.5%	42.1%

【表5】 第49回3級試験 年代別構成

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	261 人	85 人	32.6%
30歳以上39歳以下	273 人	113 人	41.4%
40歳以上49歳以下	276 人	117 人	42.4%
50歳以上59歳以下	161 人	74 人	46.0%
60歳以上	22 人	13 人	59.1%

【表6】 第49回3級試験 勤務先別構成

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	323 人	154 人	47.7%
医療関連企業	222 人	77 人	34.7%
医薬品製造・卸売	206 人	79 人	38.3%
医療機器製造・販売	62 人	28 人	45.2%
金融機関	69 人	26 人	37.7%
大学生・短大生	19 人	5 人	26.3%
その他	92 人	33 人	35.9%

※2級および3級試験における勤務先別の「金融機関」は第3回（第6回）から、「医薬品製造・卸売」は第16回（第23回）から、「医療機器製造・販売」は第21回（第30回）から追加された（カッコ内は3級試験の試験回）
※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する

支部NEWS

関東支部

第6回山梨研究会（2027年1月23日開催）

最前線で活躍する第一人者を招き これからの地域医療を考える



日本医療経営実践協会関東支部山梨研究会は、2027年１月23日に第6回となる研究会「変わる病院 変わる組織 変わる街」を加納岩医療経営研究会と共催で開催する。地域の医療経営の最前線で活躍する講師陣がそろった同研究会の内容を紹介する。

地域医療の未来を見据えて 不可欠な３つの視座を提示

2019年に県内での医療経営士資格取得の啓発を軸に、全国との交流やネットワークを通じて知見を共有し、地域全体の医療経営力を高めることを目的に発足した山梨研究会。今年3月には千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター特任教授の吉村謙佑氏らを招き、第5回山梨研究会「医療政策から読み解く病院経営の未来」を開催している。

第6回となる今回の研究会は、加納岩医療経営研究会との共催で開催される。社会医療法人加納岩財団事務局長で今回のセミナーを企画した、山梨研究会の代表を務める宮沢圭一氏は、「テーマとしては地域医療。大病院というよりも、全国にたくさんある、私たちのような中小病院の皆さんにぜひ聞いて欲しい話をしてくれる講師を揃えました」と話す。その言葉通り、これからの地域医療を考えるうえで重要となる要素が盛り込まれたプログラムとなった。

今回の研究会は３名による講演が予定されている。1人目は千葉ろうさい病院院長補佐の守屋拓朗氏。宮沢氏は、守屋氏がよく口にする「圧倒的当事者意識」という言葉に感銘を受け、講演を依頼したという。「大きな病院であれば組織があって役割分担もできているでしょうが、中小になると全員で力を合わせて動いていかなければなりません。そこに必要なのは、いかに職員一人ひとりが当事者意識を持って仕事に向かうかということでしょう。守屋氏のマインドを伝えていただくことで、皆さんの意識変革につながることを期待しています」（宮沢氏）。

２人目は医療経営士でもある医療法人松田会松田病院事務部長の佐竹直也氏。佐竹氏には2024年の全国医療経営士実践研究大会の演題発表で審査委員奨励賞を受賞した、M&Aによって取得した病院についての組織文化の課題や経営改善の話をお願いしたという宮沢氏。「M&Aやその後のPMIの問題は、今後地方の病院であればいくらでも出てくる話だと思います。佐竹氏の実践事例から学ぶことは非常に多いと考えています」（宮沢氏）。

最後の3人目には、熊本県にある谷田病院で事務部長を務める藤井将志氏を招へいした。「地域の医療機関は、いかにその地域に根づき、溶け込むことができるかが大切です。人口1万人の町で、99床の病院が、住民と一緒になって米作りや宿の運営で地域を盛り上げている、地方の病院の理想の形について話してほしいとお願いしました」という宮沢氏の想いに応えて、藤井氏もこの日はオンラインではなく熊本から来場、現地で登壇する予定となっている。

守屋氏は90分、佐竹氏と藤井氏はそれぞれ60分の講演が予定されている。研究会終了後は講師も参加しての懇親会も開催される。地域医療のトップランナーと情報交換のできる貴重な機会ともなる本研究会。オンラインでも視聴することが可能だが、ぜひ会場で参加し、その熱を感じ、想いを共有する機会としていただきたい。

第6回関東支部山梨研究会／第28回加納岩医療経営研究会［変わる病院　変わる組織　変わる街］

◆講　師：守屋拓朗氏（独立行政法人労働者健康安全機構 千葉ろうさい病院院長補佐・整形外科副部長）
佐竹直也氏（医療法人松田会松田病院事務部長／医療経営士2級）
藤井将志氏（特定医療法人谷田会谷田病院事務部長）
◆形　式：ハイブリッド形式
◆会　場：社会医療法人加納岩 加納岩総合病院大会議室（山梨市）
◆参加費：無料
◆共　催：日本医療経営実践協会関東支部山梨研究会 加納岩医療経営研究会
◆お問い合わせ：
社会医療法人加納岩財団事務局
担当：宮沢
TEL：0553-39-9720
Email：k-miyazawa@kanoiwa-hospital.or.jp



最新医療経営 PHASE3 フェイズ・スリー

最新情報を踏まえ新たな病院像を描く「経営の時代」の羅針盤

12月号 好評発売中

特集 持続可能な病院経営を加速！ 病院DX・AI新局面

2040年にかけて、人口減少・少子高齢化の進行というこれまで経験したことのない局面へと向かう中、限られた人材で医療現場を維持していくことが大きな課題となっています。その対策として、テクノロジーを積極的に活用しつつ、業務の効率化と安全で質の高いサービスの提供の両立を図ることがより重要になってきます。病院をはじめとする医療機関の中には、病院DXやAIの導入に消極的な意見もありますが、病院DXやAIを実装し、幅広く活用している医療機関にこそ優れた医療従事者が集まり、ひいては持続可能な病院経営を加速させるはずです。新局面に突入した病院DX・AIの新局面を探ります。

詳細・ご購入はコチラ

【お問い合わせ先】株式会社日本医療企画　☎03-3553-2885　http://www.jmp.co.jp

事務局掲示板

会報誌『理論と実践』投稿募集中
自分の声を会員に届けよう

当協会が発行している会報誌『理論と実践』では、会員の皆さまからの投稿を募集しています。日頃の職務における疑問や悩み、業務改善へ向けたアイデア、病院経営や医療政策・制度に関する論文や問題提起等、内容は自由です。採用原稿については薄謝を進呈いたします。お気軽にご投稿ください。



【投稿に関するお問い合わせ先】
E-mail：info@jmmpa.jp

医療経営士の所属をPRしよう!
所属先の掲載ご協力のお願い

当協会のホームページでは、会員の皆さまから掲載の同意をいただいて、医療経営士が所属する医療機関・企業名を公開しています。

医療機関の抱えるさまざまな経営課題を迅速かつ的確に解決できる能力を持った医療経営士の所属先を公開することで、経営力を持った医療機関であること、医療機関のマネジメントを支援できる人材を有する企業であることをアピールすることができます。掲載の同意をいただける方は、下記URLからご登録ください。

【登録内容変更のご案内】
http://www.jmmpa.jp/support/cat108

TOPICS

第14回「医療経営士1級」資格認定試験【第一次試験】
21人の合格者が12月の第二次試験へ

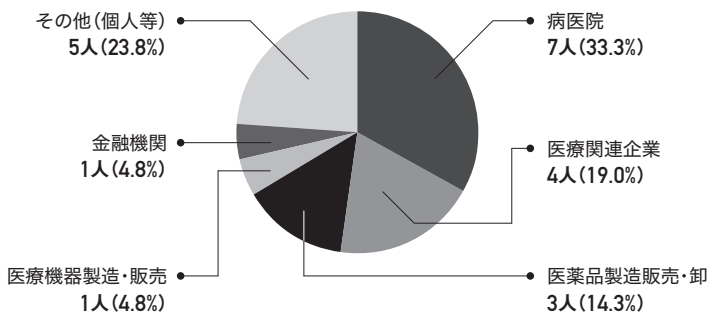
一般社団法人日本医療経営実践協会は10月30日（金）、第14回「医療経営士1級」資格認定試験第一次試験（9月6日（日）実施）の結果を発表、39人が受験、21人が合格した（合格率53.8%）。

「医療経営士1級」資格認定試験においては、医療経営に関する専門知識と実践思考（手法）を有し、理事長・病院長とともに経営幹部として意思決定をサポート、実践できる、「医療経営士」の最上位に位置する人材を評価・認定する。第一次試験では、短文記述形式と論文記述形式の筆記試験を実施。第二次試験では、課題に基づいたプレゼンテーションおよび口頭試問が行われる。

合格者の内訳を上位から見ると、年代別では50代が最も多く7人（33.3%）、次いで40代が6人（28.6%）、30代が5人（23.8%）となっている。職業別では病医院所属が7人（33.3%）と最多、続いてその他（個人）が5人（23.8%）、医療関連企業勤務者が4人（19.0%）となった。

合格者は12月6日（日）に実施する第二次試験へと進む。合格発表は12月24日（木）。

第14回医療経営士1級二次試験 合格者所属別割合



日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
11月27日（金）	関東	第6回多摩研究会　コメディカルが経営を学ぶと仕事の景色はどう変わるのか？（全3回） 第2回「専門職の視点に、経営の視座を。 ―コメディカルが目指す、現場と経営の架け橋―」	久松康代氏（医療法人社団永生会永生クリニックサービス支援課、臨床検査技師／医療経営士２級）
12月15日（火）	関東	神奈川研究会「合格者のつどい」 協会および医療経営士についての説明　ほか	荒井ゆき 氏（株式会社メディリリーフ代表取締役）ほか
2027年1月23日（土）	関東	第6回山梨研究会 「変わる病院 変わる組織 変わる街」	守屋拓朗 氏（千葉ろうさい病院院長補佐・整形外科副部長） 佐竹直也 氏（医療法人松田会松田病院事務部長／医療経営士2級） 藤井将志 氏（特定医療法人谷田会谷田病院事務部長）
2027年1月24日（日）	東海	静岡県東部医療経営研究会 「医療、介護持続する経営を考えよう～損益計算書の概要と見方～」	田中賢司 氏（岡村記念病院／医療経営士2級）
2027年2月27日（土）・28日（日）	関東	第4回神奈川研究会合宿@上郷森の家（横浜市） 「ワールドワークコーチング」	参加者同士のディスカッション　ほか

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

開業支援・出店判断・融資審査のための診療圏分析クラウド
MAP-STAR Web 診療圏分析
診療圏調査の主観を根拠に変える。
医師への提案も、出店判断も、融資審査も。
データに基づく客観的な根拠が、意思決定の質を高めます。
1 根拠ある提案
客観データで提案力を向上
2 瞬時に分析
最短５秒で診療圏分析
3 ノウハウの再現
ベテランの分析を誰でも再現
提案に説得力を。
判断に確信を。
読者限定
お好きな場所の
サンプル報告書プレゼント
ybco.co.jp/ad
詳細・お問い合わせ
ybco.co.jp
TEL 045-432-9804
株式会社ワイ・ビー・シー